

撮影：2018年10月29日

撮影：2019年1月9日







SGM株式会社

		<p>工事種目</p>	<p>マルチェコ実証実験</p>																					
		<p>撮影場所</p>	<p>神奈川県M社(部品製造) CT内部</p>																					
		<p>撮影日</p>	<p>2019/1/9 (設置後 83日)</p>																					
		<p>【冷却塔内部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メカセラ水により溶融した「スケール」により白色泡が依然として発生している</li> </ul>																						
		<p>工事種目</p>																						
		<p>撮影場所</p>	<p>CT内部・右側</p>																					
		<p>撮影日</p>																						
		<p>【内部・右側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>充填材の中に詰まっていたスケールが剥離し循環水の通りが良くなっている為、初期に見られた充填材からCT内側に吹き出していた循環水が無くなり正常な流れを回復した</li> </ul>																						
		<p>工事種目</p>																						
		<p>撮影場所</p>	<p>CT内部・左側</p>																					
		<p>撮影日</p>																						
		<p>【内部・左側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>循環水の落水の通りが良くなっている (右側と同じ改善状況)</li> </ul>																						
<p>【循環水】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気伝導度: 350 <math>\mu</math> S/cm</li> <li>水温: N/A</li> <li>残留塩素: 0 mg/l</li> <li>pH: 8.2</li> <li>Mアルカリ: 180mg/l</li> <li>全硬度: 166mg/l</li> </ul>		<p>工事種目</p>																						
		<p>撮影場所</p>																						
		<p>撮影日</p>																						
		<table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>【循環水】</th> <th>【JRA基準値】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気伝導度:</td> <td>320 <math>\mu</math> S/cm</td> <td>800 <math>\mu</math> S/cm以下</td> </tr> <tr> <td>水温:</td> <td>15.6度</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>残留塩素:</td> <td>0.2mg/l</td> <td>0.3mg/l</td> </tr> <tr> <td>pH:</td> <td>8.7</td> <td>6.5~8.2</td> </tr> <tr> <td>Mアルカリ:</td> <td>150mg/l</td> <td>100mg/l以下</td> </tr> <tr> <td>全硬度:</td> <td>150mg/l</td> <td>200mg/l以下</td> </tr> </tbody> </table>			【循環水】	【JRA基準値】	電気伝導度:	320 $\mu$ S/cm	800 $\mu$ S/cm以下	水温:	15.6度	—	残留塩素:	0.2mg/l	0.3mg/l	pH:	8.7	6.5~8.2	Mアルカリ:	150mg/l	100mg/l以下	全硬度:	150mg/l	200mg/l以下
	【循環水】	【JRA基準値】																						
電気伝導度:	320 $\mu$ S/cm	800 $\mu$ S/cm以下																						
水温:	15.6度	—																						
残留塩素:	0.2mg/l	0.3mg/l																						
pH:	8.7	6.5~8.2																						
Mアルカリ:	150mg/l	100mg/l以下																						
全硬度:	150mg/l	200mg/l以下																						

撮影： 2018年10月29日

撮影： 2019年1月9日

SGM株式会社

		<p>工事種目</p>	<p>マルチエコ実証実験</p>
		<p>撮影場所</p>	<p>CT外部・右側</p>
		<p>撮影日</p>	<p>2019年1月9日</p>
		<p>【外部・右側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CTドアから右側の充填材とルーバー</li> <li>・充填材の外側先端部に固着していたスケールが簡単に剥離し、充填材内部と共にスケールが取れきれいな状態になった</li> </ul>	
		<p>工事種目</p>	
		<p>撮影場所</p>	<p>CT外部・左側</p>
		<p>撮影日</p>	
		<p>【外部・左側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CTドアから左側の充填材とルーバー</li> <li>・散水量が不均一であった充填材先端部(外側)にスケールが若干残存している</li> <li>・上部散水孔のスケールつまりを回復させた</li> </ul>	
		<p>工事種目</p>	
		<p>撮影場所</p>	<p>CT右側・上部散水槽</p>
		<p>撮影日</p>	
		<p>【上部散水槽・右側】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水槽散水孔が剥離したスケールでつまっていた</li> <li>・散水が落水量が不均一状態。</li> <li>・上部水槽散水孔のつまりを清掃し回復させた</li> </ul>	
		<p>工事種目</p>	
		<p>撮影場所</p>	<p>CT右側・上部散水槽</p>
		<p>撮影日</p>	
		<p>【右側・上部散水槽】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上部水槽散水槽で剥離したスケール</li> <li>・スケールは清掃の上廃棄した</li> </ul>	

コメント:

今回は御社のご協力を賜りデモ試験を約3ヶ月に渡り実施いたしました。有難うございました。実験の中で長年の間に蓄積したスケールが剥がれ落ち、上部散水槽の底穴、ドレイン、充填材・ルーバーの掃除などを実施した経緯ですが、CTはきれいになりましたので(ご採用を頂いた場合は)今後のマルチエコ運用による日常のCT管理は2週間に1度固形塩素を確認し追加投入して頂くだけです。他の作業は不要となります。

以上。